

福祉のひろは

特集

少年更生と福祉

《社会包摂への挑戦》

児童自立支援施設・少年院・更生保護施設の実践

2

2013

トピックス

福島で生き続けて
福祉現場で働き続けるために
——メンタルヘルスと若手職員の声



ひろばトーク

大阪市の地域福祉を守る会事務局

みやした

宮下

すなお

砂生さん

大阪市の「市政改革プラン」は、「まちこわし・地域福祉の絆こわしプラン、

編集 総合社会福祉研究所

住む人・使う人が主人公！

私たちは住む人・使う人の
立場に立って設計しています。
お気軽にご相談下さい。

京都建築事務所

〒 604-8083

京都市中京区三条柳馬場東入中之町10

代表取締役社長 川下 晃正

TEL (075) 211-7277

FAX (075) 211-7270

<http://www.kyoto-archi.co.jp/>

〒601-8382

京都市南区吉祥院石原上川原町21

<http://www.creates-k.co.jp>

クリエイツかもがわ



TEL 075 (661) 5741
FAX 075 (693) 6605
価格税込・送料何冊でも240円

子ども自身かこうなりたいと感じたときからかへらみはじめる発達の見逃さず、よりよい、花咲かそう、制度改革のなかで、確実に発展を続ける発達保障の歴史を学び、より豊かな歩みをすすめるよう仲間とともに。

豊かな発達保障をめざして 自分を好きになる力

日本福祉大学教授
近藤直子◆著
定価1260円



高齢者と子育て居住支援をミッションに
子どもや高齢者が社会的に、そして生活や居住面で、大事にされていくだろうか？ 民営化の危機にあるURが果たしてきた役割、問題点を明らかにし、高齢者子育ての居住支援を重点に、地域社会づくりに活用するしくみを提起。 定価2100円

UR団地の 公的な再生と活用

増永理彦◆著



東日本大震災 復興の 正義と倫理

検証と提言

塩崎賢明・西川榮一・出口俊一・
兵庫県震災復興研究センター◆編
復興プロセスに正義や為政者に
倫理があるのかを鋭く問う！

復興予算の「流用」、被災者置き去りの「創造的復興」、これでは、阪神の「復興災害」が繰り返される。生活・住宅再建、人間復興をめざす50の検証と提言！

定価2310円



高齢者が安心してくらし、 住める日本を取り戻す！

——厚生労働省前で高齢者が2泊3日の座り込み——



雨が降り始め、シートを被りながらの座り込みが2012年12月17日から19日まで、寒さの中で続いた。例年行っているとはいえ、年を重ねるごとに3日間の座り込みは厳しくなる。

霞が関の人たちは、遠巻きに見ている。通行する人たちは、非常に関心を持って見守っているようだ。私（下野）もマイクを握って激励してしまった。



かみつほひかり

衆議院選挙の翌日（2012年12月17日）、全国老後保障地域団体連絡会（上坪陽代表委員）と東京都老後保障推進協会（城田尚彦しろたなおひこ会長）は、政府へ要求を申し入れた。午後1時30分、厚生労働大臣に17項目の高齢者予算要求書を提出。「高齢者が安心して、平和に暮らせる日本を保障せよ！」という要求と願いは、厚労省前での座り込みへ続く。投票日翌日とあって霞が関界隈は何かピリピリしている。天候も曇りから雨に変わってきた。しかし、座り込む人たちには、それぞれの思いと託された願いがある。（要望書を携えて厚労省に向かうメンバーたち）



わかばやしひとし
茨城県水戸市から参加した若林均さん（77歳）は、「この年齢で年間20万円もの国民健康保険料はひどすぎる。国は医療にお金を支出するべきだ。国保への補助金を削り、地方自治体も財政が厳しい中での運営だ。しっかりと考えてほしい」と要望した。

国民の予算要求座り込み宣言(原文ママ)

わたくし達は座り込む。

政治の寒風に耐えて座り込む。

高齢者のちと暮らしと人生を守るために。

わたくし達は座り込む。

より良い明日を願って座り込む。

子どもと孫とすべての人たちのために。

戦争と大震災で奪われた

無数の仲間たちの魂よ。

今こそ ともに座りこもう！

生きてた時の生きてたままに。

わたくし達は座り込む。

貧困と格差もなくせと座りこむ。

平和と民主主義を守るために。



(写真・文 下野祇園)

【ひろばトーク】

大阪市の「市政改革プラン」は、

「まちこわし・地域福祉の絆こわしプラン、 宮下 砂生 6

福祉のひろば

2013年2月号

●特集● 少年更生と福祉 《社会包摂への挑戦》

小舎夫婦制で子どもに伴走する	10
——児童自立支援施設 大阪市立阿武山学園の取り組み	
内面へ働きかけ、成長を待つ	16
——奈良少年院の取り組み	
いつでも頼れる「わが家、のように	22
——更生保護施設 泉州寮の取り組み	
大切なのは継続的な愛情保障と発達保障	26
——弁護士 峯本耕治さん	
少年たちの行き場を守る人たち	
少年更生の仕組みと、取材を通して感じたこと	32

●トピックス●

故鍋谷州春さんの思い出	石倉 康次 35
福島で生き続けて	相澤 與一 36
福祉現場で働き続けるために	申 佳弥 40
——メンタルヘルス問題と若手職員の声を通して考える	

●連載●

フォーラム アウトリーチということ	河合 克義 48
ひとつのこと—社会福祉労働と私たちの実践	
リサイクル班の作業・活動における支援 南海香里のさと	50
連載 小川政亮 第二部 自伝 (11)	
中国訪問、学術会議、被爆者運動とのつながり	小川 政亮 52
相談室の窓から	青木 道忠 56
未(不)就労の若者を対象とする就労・雇用チャレンジ協議会	
わらじ医者 早川一光の「よろず診療所日誌」	
不思議、ふしぎ、人間のつくり(その14)	早川 一光 58
育つ風景 言ってはいけない言葉の意味	清水 玲子 60
穂波のアメリカ子育て事情 社会疫学への目覚め	吉田 穂波 62
映画案内 『東京家族』	吉村 英夫 64
現代の貧困を訪ねて	
2013年の日本社会とこどもの未来	生田 武志 66
施設訪問ボランティア	
ゴールデンフラワーズ ジーパー 富山ハモチン一座	江口 實 68
私の研究ノート	
ソーシャルワーカーの成長過程の実相	塩満 卓 70
ホームレスから日本を見れば	ありむら潜 72
花咲け! 男やもめ	川口モトコ 74

●表紙の絵と写真●

絵=神門やす子
写真=下野祇園



●カット●
川本 浩

みんなのポスト 44 / 今月の本棚 73 /

しりとりであそぼう! & 憲法クイズ 75 / 福祉の動き 76

●グラビア● 高齢者が安心して暮らし、住める日本を取り戻す!

大阪市の「市政改革プラン」は、 「まちこわし・地域福祉の 絆こわしプラン」

——今、地方自治体と社協の役割を考える——

大阪市の地域福祉を守る会事務局 ^{みやした}宮下 ^{すなお}砂生さん

橋下市長誕生の翌年、二〇一二年七月大阪市民議会で、三年で三九四億円予算を削減する「市政改革プラン」が可決され、大阪市（区）社会福祉協議会への交付金は補助金化され、たうえ二五%削減となり、四年後の廃止までが検討されています。地域（福祉）の各事業は低予算化され、質の維持・発展が確保しにくい水準で現在、「公募」選定が次々と行われており、「非正規化・官製ワーキングプア」がますます増大しています。

二〇一三年四月には、地域生活支援ワーカー（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）が現在の二二八名から二四名へと約一〇〇名も減らされ、公募実施となります。また、小学校区ごとの見守り支援員でもある地域ネットワーク推進員（市補助金により地域ネットワーク委員会が雇用する常勤職員）も、市事業としては三一六名全員が廃止されます。

この地域ネットワーク推進員は、老人憩いの家に平日に常勤し、地域住民である地域ネットワーク委員と協力して地域の高齢者などを見守り、相談支援や専門職・サービスにつなげる役割を果たしてきました。しかし、橋下市長が市のあり方検討の場で「（地域ネットワーク委員に）輪番制で会館に詰めてもらえばお金もかからない」と発言し、廃止方向が決められたのです。推進員の働きぶりをよく知る町会長さんやネットワーク委員さんたちは、「私たちが今までやってきたことは無駄だと言うのか」「市が適当なものでよいと言うなら、他の誰かがやればよい」と、長年の取り組みをいとも簡単に切り捨て、市長の方針に怒り、モチベーションは下がっています。

一区一名にされる地域生活支援ワーカーの問題と併せ、「誰もが人として安心して生活していく」ための支援・役割を今後誰が担うのが、今のままでは見えません。



みやした すなお

大阪市の地域福祉を守る会事務局、全国福祉保育労働組合大阪地方本部大阪市社会福祉協議会分会書記長（大阪市社会福祉協議会職員・大阪市立東成区老人福祉センター勤務）。趣味：釣り・映画鑑賞・「快獣ブースカ」グッズのコレクション

地域福祉施設も、二〇一四年度に、子育てしている相談センターは廃止、老人福祉センター（二六館から一八館に）や子ども・子育てプラザ（二四か所から一八か所に）などは約三〇％削減されるなど、市民のための福祉施設やサービスが身近な地域からますます遠のきます。

市政改革プランは、「自己責任・共助」の強調とビジネス化（CB/SB、コミュニティビジネス/ソーシャルビジネス）の活用で市民の暮らし・福祉施策と「公助」予算を切り捨てる路線で、地方自治法が定める「住民の福祉の増進を図ることを基本」としない自治体づくり（まちこわし）です。これに反対し、地域福祉の拡充、民主的な地域活動の発展をめざして「大阪市の地域福祉を守る会」（代表世話人に中山徹奈良女子大学教授など）が結成されました。事務局を全国福祉保育労働組合大阪地方本部に置き、これまで市長宛の署名活動や地域社協役員・町会長さん訪問、宣伝、市交渉、シンポジウムなどに取り組み、昨年一月には書籍『橋下維新が地域の福祉・医療をこわす』（中山徹・宮下砂生・大阪市の地域福祉を守る会編、自治体研究社）を発行。

総論と社会福祉協議会・まちづくり・保育・生活保護・医療・赤バスの課題等について問題提起しました。

市民の福祉要求・願いを掲げ、人にやさしい大阪市政を取り戻すたかいはまだまだ続きます。学ぶことを武器に、力にして！



定価1260円。お申込みは、
大阪市の地域福祉を守る会
(FAX06-6773-8292) へ

特 集

少年更生と福祉 《社会包摂への挑戦》

『犯罪白書——少年・若年犯罪者の実態と再犯防止』（二〇一一年版）は、少年院出院者を対象に、出院後の刑事処分の有無に関する追跡調査（二〇〇四年一月～三月の間に全国の少年院を出院した、出院時一八歳・一九歳の者六四四人が対象。男子九四・一％、女子五・九％。調査内容は、出院後の犯行の有無及びその状況）を行い、少年院出院者の犯罪の実態、その要因と特徴、非行少年・若年者に対する意識調査、内的意識の特徴を分析し、少年・若年犯罪者の処遇の充実に向けた展望を試みた、としています（白書全文は法務省のホームページから閲覧できます）。

同白書を読むと、

① 少年による一般刑法犯（道路上の交通事故に関わる危険運転致死傷を除く）検挙人員の人口比の推移は、近年、年少少年及び触法少年の構成比が高まり、家庭裁判所による児童自立支援施設等（児童自立支援施設及び児童養護施設）に対する送致人員（その大部分は一五歳以下の少年）はおおむね横ばいであり、年齢一三歳以下の少年の送致人員が増加している。

② 少年院出院者のうち刑事処分を受けた者は、初犯犯行時年齢を見ると二〇歳前半から二一歳前半がピークになっており、保護観察終了後、一年で過半数が、約三〇か月で約八〇％の者が初回犯行に及んでいる。

③ 少年院出院者のうち刑事処分を受けた者の少年院出院後の居住は、犯